

今回は、「小国町」における 文化的景観の取組みを特集します！

平成 29 年 10 月 13 日に、阿蘇地域における草原をはじめとした水田、畑、森林などの美しい風景の一部が、国の文化財である「重要文化的景観」に選定されました。平成 28 年の熊本地震で、阿蘇地域も大きな被害を受けましたが、災害を乗り越え、阿蘇の素晴らしい風景と暮らしを後世に引き継いでいく取組みが始まっています。

阿蘇地域における文化的景観の取組みの「今」をお伝えする「文化的景観だより」、今回は小国町での取組みを中心にご紹介します！

This is 文化的景観！

これぞ文化的景観！な風景をご紹介するコーナー



小国町提供

かみだのながれ

<小国町上田の流の草原>

小国町大字上田の流（かみだのながれ）地域の草原で、現在も野焼きが実施され採草地として利用されています。この地域の水源は一部が湿原になっており、希少な生物が生息しています。

TOPIC 1

小国町における「アーティストイン阿蘇」の取組み

小国町は、阿蘇地域最北の標高 300m以上の起伏のある斜面地に位置する林業や農業を主産業とする町です。涌蓋山麓から延びる緩やかな斜面に位置する草原の一部が、「重要文化的景観」に選定されています。今回は、この美しい草原を芸術活動に活用した、「アーティストイン阿蘇」の取組みをご紹介します。

「アーティストイン阿蘇」は、平成29年9月19日～10月27日まで、熊本県と阿蘇郡市との共同で行われました。これは、阿蘇郡市それぞれの地域に 40 日間程度、海外のアーティストが滞在しながら、「阿蘇」をテーマとした芸術創作活動を行っていくものです。

小国町では、フランス人アーティストのソニア・バザンタイさんがインスタレーションというアートを制作しました。インスタレーションとは現代美術の手法で、作品と、作品を展示する場所（自然空間など）とを調和させて、芸術空間として表現するものです。ソニアさんは小国町大字上田流の草原を舞台に、小国町の特産である小国杉を材料として、『The Meadows ～牧草地～』という作品を制作されました。

また、滞在期間中には、小国中学校8年生に美術の授業をしていただきました。ソニアさんは世界の穀物保存様式など、農家の方の生業から自然に生まれた文化を美術的に高く評価しています。今回は、中学生に自然の材料（小国杉の端材・もみ殻・麻ロープなど）を使って穀物の保存方法を考え、実際に制作してもらいました。住んでいる方達と中学生にとっては、普段見慣れた草原の美しさと農業の重要性を再発見する良いきっかけとなりました。



草原と小国杉とのインスタレーション



小国中学校での授業の様子

TOPIC 2

小国郷の春を彩るイベントのご紹介

阿蘇地域にとっては長い冬が終わり、春の訪れを告げる「野焼き」が各地で行われています。春の阿蘇は、この時期にしか見ることのできない彩り豊かな風景が広がり、様々なイベントも開催されています。春の小国郷に、ぜひ遊びに来てください！



野焼き
2～3月



鍋ヶ滝ライトアップ
3月31日～4月5日



杖立温泉じいのほり祭り
4月1日～5月6日

写真は全て小国町提供

お問い合わせ先

【各市町村窓口】

- ・阿蘇市 0967-22-3229（教育委員会）
- ・南小国町 0967-42-0047（教育委員会）
- ・小国町 0967-46-3317（教育委員会）
- ・産山村 0967-25-2214（教育委員会）
- ・高森町 0967-62-1111（教育委員会）
- ・南阿蘇村 0967-67-1602（教育委員会）
- ・西原村 096-279-4424（教育委員会）

阿蘇郡市世界文化遺産登録事業推進協議会事務局
(阿蘇世界文化遺産推進室)

〒869-2221 熊本県阿蘇市役犬原 805 TEL: 0967-34-1643 <http://www.asosekaibunkaisan.com>

阿蘇 世界文化遺産

